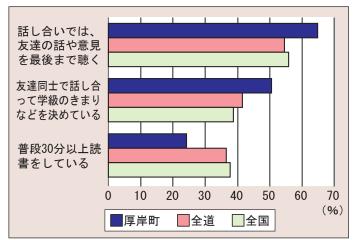
【小学生の学習状況】



『学級会などで、友達同士で話し合って学級の決まりを作っている』『学級みんなで協力してやり遂げうれしかったことがある』など、集団でのルールを守ろうとする意識や達成感を問う項目は、全道・全国と比べ大きく上回っています。また、話し合い活動では、友達の話や意見を最後まで聞く意識も高い傾向にあります。

しかし、『自分には良いところがある』『失敗を恐れないで挑戦する』『自分の考えや意見を発表する』 など、自分の良さや積極性を問う項目については、全体的に低い傾向にあります。

家庭生活では、テレビ視聴が1日3時間を超える 児童が40%、テレビゲームでは16%と高く、また、 1日あたりの読書量が30分以上の児童が24%と低い 実態にあることから、家庭での過ごし方を見直すこ とが必要です。

【中学生の学習状況】



『難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している』『人の役に立つ人間になりたいと思う』など、自分の良さや社会性を問う項目が、全道・全国と比べ大きく上回っています。また、小学生同様、集団でのルールを守ろうとする意識や集団での達成感は高い傾向にあります。

学習面では、『家では、自分で計画を立てて勉強をしている』『家で宿題をしている』と回答した生徒の割合が、全道・全国と比べ上回っています。家庭で計画的に学習している傾向にありますが、1時間以上学習している生徒の割合は低い傾向にあり、家庭学習の質的・量的な改善が課題です。また、昨年度と比べ改善傾向にありますが、3時間以上、テレビやゲーム、携帯電話等を使用している生徒の割合が2割前後と依然として高い傾向にあることから、情報端末機器の使用について見直すことが必要です。

~ 『わかる』 『できる』 を実感する学びへ~

学校では

- ・楽しく学ぶ環境づくりに努めます。
- ・学校の様子をわかりやすく保護者に伝えます。
- 学習規律を徹底します。
- ・子ども一人一人の思考を促します。
- ・ノート指導を通して『書く力』を伸ばします。
- ・自分の思いや考えを表現する場を多くします。
- ・操作活動や実験・観察の技能を高めます。
- ・学び方や学習のしかたを指導します。

教育委員会では

- ・町内の学力・学習状況を分析し、成果や課題から改善策を提示します。
- 少人数指導や長期休業中の学習を支援します。
- ・先生の研修の機会を増やし、授業力を高めます。
- ・情報館や分館、図書館バスの活用を積極的に進めます。
- ・情報端末機器のルールづくりを進めます。
- ・社会性や人間性を高める体験活動の充実を図り ます。

家庭では

- ・家庭学習の習慣化を図りましょう。(学習時間と読書時間の確保)
- ・テレビゲームや携帯電話などのルールや使い方を家庭で決め、しっかり守らせましょう。

●問い合わせ/教育委員会指導室(役場内)☎内線351

厚岸っ子の学びの 状況をお知らせします

~平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果から~

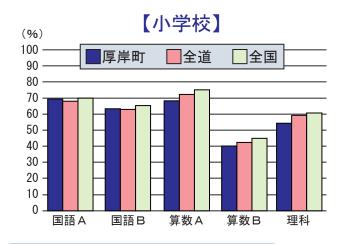
4月21日に、全国学力・学習状況調査を実施しました。調査では、国語や算数・数学、理科の3教科のほか、学習の状況をとらえるための質問紙調査(アンケート)も行っています。この調査で把握できる学力や学習状況は特定の一部分ですが、調査結果から学校教育活動の状況や、児童生徒の学びの状況と傾向をとらえることで、今後の教育活動を改善していきます。

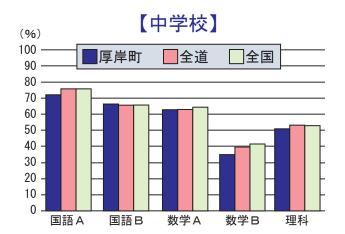
全国学力・学習状況調査の概要

- 1. 調査対象 町内の小学校6年生…91人 町内の中学校3年生…88人
- 2. 調査内容
 - (1)教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)
 - ①主に基礎的な『知識』に関する問題 国語 A、算数・数学 A
 - ②主に『応用』や『活用』に関する問題 国語B、算数・数学B
 - ③理科については、『知識』『活用』を一体的に出題
 - (2)質問紙調査

児童生徒の学習状況を把握する調査

厚岸町・全道・全国の調査結果(平均正答率)





小・中ともに国語カアップ! 算数・数学、理科に課題!

小学校国語では、主に基礎問題とされるA問題や、活用問題 とされるB問題について正当率が全道平均を上回り、中学校で

もB問題で全道・全国平均を上回っています。特に、文の構成問題や、根拠をもとに理由を書く問題の正答率が高い傾向にあります。また、無回答率が低いことから、長文問題にも粘り強く取り組んだことがうかがえます。

一方、算数・数学、理科で全道・全国と比べ大きな開きがありました。小学校算数では、数量や図形についての知識や技能を問う正答率が低い傾向にあります。中学校数学では、基礎的な計算や数量関係の正答率は高い傾向にあるものの、活用問題では、与えられた情報から必要な情報を選択する力などに課題がありました。小学校理科では、基本的な実験器具の使い方や記述式の問題、中学校理科では、天気図の読み取りや水溶液の濃度計算など、『観察・実験の技能』が課題としてあげられます。